

「持続可能な社会（農業）の実現に向けて」油木高校で講演会を実施します!!

「日本最大規模のアクアポニックスビジネス」を展開する、株式会社 プラントフォーム 代表取締役CEO 山本 祐二 先生による講演会を油木高校で実施します。

IT企業出身の山本先生がアグリベンチャーを創業するまでの思考の変遷や、「社会課題と事業構想とをリンクさせる」という考え方に触れ、生徒は「実社会と自己との関わりの中から課題を立てる」ためのヒントを得る機会とします。

1 日時 令和6年 10月29日（火） 13：50～14：40

題目「持続可能な社会（農業）の実現に向けて、私達がやるべきこと」

2 場所 広島県立油木高等学校 体育館

（住所：広島県神石郡神石高原町油木乙 1965）

3 参加者 油木高等学校全校生徒、教職員



講師の山本先生

4 講師紹介 株式会社 プラントフォーム 代表取締役CEO 山本 祐二 先生

東京都出身

2003年 （株）リクルート勤務

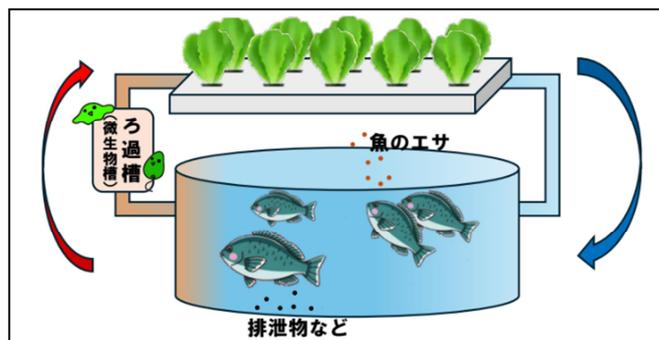
2006年 インターネットマーケティングの（株）メデックス勤務

2016年 雪をIT機器の冷却に活用したデータセンター事業を行う（株）データドック創業

2018年 アクアポニックスを活用した食料生産モデルの実現を目指す（株）プラントフォーム創業

5 アクアポニックスとは

アクアポニックスは養殖と水耕栽培を掛け合わせた循環型の農業です。魚の排泄物を微生物が分解し、植物がそれを吸収して育ちます。浄化された水が再び魚の養殖に用いられるため、少ない水資源で養殖業と農業が両立できる循環型農業として注目されています。



図：アクアポニックスのイメージ図



油木高校生徒がアメリカで
アクアポニックスを視察した際の様子

現在、油木高等学校産業ビジネス科の生徒は、神石高原町や、プラントフォームの支援を受けながら、チョウザメを使ったアクアポニックスに挑戦しています。

※ 取材の依頼は直接学校にお問い合わせください。